

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



日造協ニュース

2022.9月 通巻 第582号

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalca.or.jp>
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

本号の主な内容

- 2面 【学会の目・眼・芽】「造園大百科事典」の刊行とご一読のすすめ
 (社)日本造園学会理事 長崎大学総合生産科学域教授 渡辺 貴史
 【特集】2023年度創設予定の資格制度 緑地樹木剪定士
- 3面 令和4、5年度 日造協 各委員会・部会紹介「技術委員会」「造園領域発展戦略委員会」
- 4面 【ふるさと自慢】「落語発祥の地」安楽庵策伝上人と7つの寺
 岐阜県支部 日比 真一 (昭和造園土木株式会社)
 【緑滴】アナザースカイを探しに行こう！
 千葉県支部 土屋 純里 (株式会社新松戸造園)

日造協会員の方々への「日造協ニュース」は偶数月がPDF版の配信で、印刷物の発送は行っていません。会員の方々へのメールニュースへの添付、日造協ホームページに掲載をしていますので、ご活用ください。

お陰様で（一社）日本造園建設業協会は2021年11月に創立50周年を迎えました。

令和5年度 国交省都市局関係 概算要求3,840億円に

国土交通省の令和5年度予算概算要求は、国費総額6兆9,280億円（対前年度比1.18倍）となった。都市局関係では事業費3,840億円（1.25倍）、国費1,544億円（1.20倍）で、国営公園等が事業費451億円（1.12倍）、国費380億円（1.19倍）、市街地整備が事業費3,330億円（1.27倍）、国費1,127億円（1.20倍）となった。

令和5年度都市局概算要求の基本方針は、激甚化・頻発化する自然災害に的確に対応するための防災・減災を主流化した強靭なまちづくりと、都市の成長力を引き上げ、豊かで活力あるコンパクトな地域づくりを進めるため、地域生活拠点の充実やポストコロナの多様なライフスタイルを支える持続可能な多極連携型のまちづくり、グリーンインフラの社会実装などに取り組むこととし、主要事項として6項目を掲げた。ここでは造園に深く関わる事項を紹介します。

防災・減災まちづくりの更なる推進

盛土による災害など「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を着実に推進。防災・減災を主流化したコンパクトシティ、災害リスクの高いエリアからの移転の促進等、盛土による災害の防止、防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策の着実な推進を図る。

特に、加速化対策では、防災公園の機能確保、都市公園の老朽化対策、グリーンインフラを活用した防災・減災のため、雨水貯留浸透機能を有する雨庭整備などに取り組む。

多様なライフスタイルを支える持続可能な多極連携型まちづくり

ポストコロナの多様な暮らし方・働き方を支える人間中心のコンパクトなまちづくりの実現に向けて、都心拠点（市街地）の充実だけではなく、日常生活を営む身近なエリア（ネイバーフッド）にも必要な機能が確保された地域生活拠

点を形成するとともに、都心拠点と地域生活拠点を結ぶ都市の骨格となる公共交通（ネットワーク）の確保を図る。これらを郊外住宅地や周辺集落を含む都市圏全体で取り組むことにより、人々のWell-beingを高めつつ、持続可能な多極連携型の都市構造の実現を目指す。

具体的な施策としては、①日常生活を支える地域生活拠点の形成として、官民連携による身近な公園の質の向上や憩いの場となるオープンスペース、ウォーカブル空間の創出、コミュニティ拠点や就業拠点等を充実させるほか、②骨格となる公共交通の確保、③都市圏全体での実効性のあるコンパクト化の推進を図り、持続可能な都市構造の実現、人々のWell-beingの向上を目指す。

まちづくりのグリーン化の推進

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素に資する都市・地域づくりを推進していくため、都市のコンパクト・プラス・ネットワークの推進やウォーカブルな空間づくり等とあわせて、グリーンインフラの社会実装、環境に配慮した民間都市開発等のまちづくりのグリーン化の取組を総合的、重点的に支援。特に都市における緑とオープンスペースの展開では、屋上緑化や樹林主体の都市公園など、CO₂吸収源となるグリーンインフラの社会実装の推進、官民連携による公園の整備・管理運営を行う。

都市開発の海外展開・国際園芸博覧会及び首里城復元に向けた取組

防災公園の機能確保

多様な災害に対応した防災公園の整備により、災害発生時の避難地、防災拠点としての機能を確保する。

【KPI】機能を十分発揮するために整備が必要な防災公園（約160箇所程度）の対策実施率

■現状：— ⇒ 令和7年度達成目標：80%

■5か年加速化対策による達成年次の前倒し
令和13年度 ⇒ 令和9年度



都市公園の老朽化対策

都市公園においてインフラ長寿命化計画に基づく老朽化対策を進め、予防保全管理への移行を図る。

【KPI】インフラ長寿命化計画を策定済みの都市公園（約66,000公園）のうち、緊急度の高い老朽化した公園施設の改修等の対策を実施できている都市公園の割合

■現状：31% ⇒ 令和7年度達成目標：80%

■5か年加速化対策による達成年次の前倒し
令和12年度 ⇒ 令和9年度



グリーンインフラを活用した防災・減災

雨水の貯留浸透機能等の高いグリーンインフラの創出・保全等災害の低減に資する取組を支援する。

【KPI】全国の主要都市（30都市を想定）における防災・減災に資するグリーンインフラの取組実施率

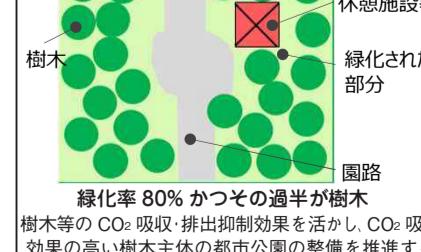
■現状：10% ⇒ 令和7年度達成目標：90%

■5か年加速化対策による達成年次の前倒し
令和11年度 ⇒ 令和8年度



CO₂吸収源となる都市公園整備の推進

樹木、休憩施設等、緑化された部分、園路、緑化率80%かつその過半が樹木



樹林

(一社)日本造園建設業協会理事
 (株)新潟造園土木 代表取締役社長 近 陽一郎



まちに風格を与えてくれる街路樹を

近年街路樹を見ていると思うことがあります。せっかく植栽された樹木が生育不良だったり、本来の姿では無いためにその機能を発揮できていないと感じられるものが日々見受けられるのはどうしてなのかという疑問がありました。（素晴らしい街路樹もたくさんあります）

◆ 本来街路樹の機能には景観形成として、無機質な街並みに潤いと安らぎを与え、街に統一感をもたらす、季節の変化を感じさせることができます。

また環境面においては、夏の強い日差しから歩行者を守り、緑陰効果や葉の蒸散作用により周囲の気温上昇を抑えることでヒートアイランド現象の緩和に役立ちます。

それにCO₂の吸収により地球温暖化防止にも役立ち、車の騒音緩和にもつながります。防災面においては火災時の延焼防止、通行車両に対する視線誘導等様々なメリットがあります。

◆ 私が住んでいる新潟県内を見てもそうですが、県外に行っても街路樹がその機能を十分に発揮できていないと思われる状態をよく見かけます。ではなぜこういうことになっているのか私なりに考えてみました。

その要因としては2つ考えられると思います。1つ目は植栽環境による問題と、2つ目はその後の維持管理に問題はあるのではないかと思います。

最初に植栽環境の問題ですが、いくら街路樹に適した樹種であってもわずか1m²位の限られた植樹樹の中では植栽時の若木の内なら成長できますが、その後何年か経ち根が伸びるスペースがなければ成長もできないし、逆に衰え

退していくばかりです。（勿論植栽基盤の問題もありますが…）本来環境負荷に強い樹種であっても常時強風に晒されるような場所では成長も望めません。

◆ 次に維持管理に関する問題ですが、適切な管理がなされていないことがあります。いくつか例を挙げてみると、樹形を無視したぶつ切り剪定や基本的な剪定技法から逸脱した剪定、周囲の施設（道路標識、建物の看板、電線等）の都合により樹形を無視した剪定、その他通常の維持管理では解決できない根上がりによる植樹樹や舗装の破損等、交通安全上の問題もあります。

◆ ではこれらの問題を解決するにはどうすれば良いかということですが、植栽環境や維持管理に関する問題もすべて我々造園業者が関わって来たことです。私も若いころは設計書通りに植栽すれば樹木は普通に育つと思っていましたが、そうではないと気付くには何年も経ってからでした。

やはり植栽するにあたり本当にその樹木がそこで育つことができるのか、また成長したときにそのスペースはあるかなど事前に検討すべきことはたくさんあると思います。樹木は自分で場所を選ぶことはできません。生かすも殺すも我々の手にかかっています。

最近大きく立派に育った街路樹が住民からの苦情で伐採されるケースが目立ちます。適切に管理された街路樹は見た目の素晴らしさは勿論ですが、街に風格を与えてくれます。そんな街路樹がたくさん増えればいいなと願っています。

都市開発分野における我が国企業の海外展開を促進するため、川上から川下まで官民一体となった取組を強化し、プロジェクト受注の拡大を図るほか、2027年に神奈川県横浜市で開催する最上位のクラス（A1）の国際園芸博覧会について、開催に向けた準備を着実に進め、令和元年10月の火災により焼失した首里城について、本体工事を推進し、令和8年の正殿の復元に向けた取組を進める。

都市開発分野における我が国企業の海外展開を促進するため、川上から川下まで官民一体となった取組を強化し、プロジェクト受注の拡大を図るほか、2027年に神奈川県横浜市で開催する最上位のクラス（A1）の国際園芸博覧会について、開催に向けた準備を着実に進め、令和元年10月の火災により焼失した首里城について、本体工事を推進し、令和8年の正殿の復元に向けた取組を進める。

全国労働衛生週間

本週間10/1~10/7 準備期間9/1~9/30

10月1日～7日を本週間、9月1日～30日を準備期間に「全国労働衛生週間」が実施されます。

今年のスローガンは、「あなたの健康があつてこそ 笑顔があふれる健康職場

全国労働衛生週間

本週間10/1~10/7 準備期間9/1~9/30

10月1日～7日を本週間、9月1日～30日を準備期間に「全国労働衛生週間」が実施されます。

今年のスローガンは、「あなたの健康があつてこそ

2023年度創設予定の資格制度

特集

緑地樹木剪定士

商標登録出願中

国土交通省の取り組む「インフラ長寿命化計画」や美しいみどり環境の実現等の社会的要請に応えるため、公園・緑地に植栽される樹木を適切に管理でき、利用者への安全配慮ができる技術者が必要となっています。日造協では「街路樹剪定士」と「植栽基盤診断士」の資格制度を創設し、専門的な知識と技能・技術を併せ持ったプロフェッショナルの育成に努めてきました。今号では、新たに設立する予定の「緑地樹木剪定士」の概要について紹介します。

「緑地樹木剪定士」設立の背景と意義

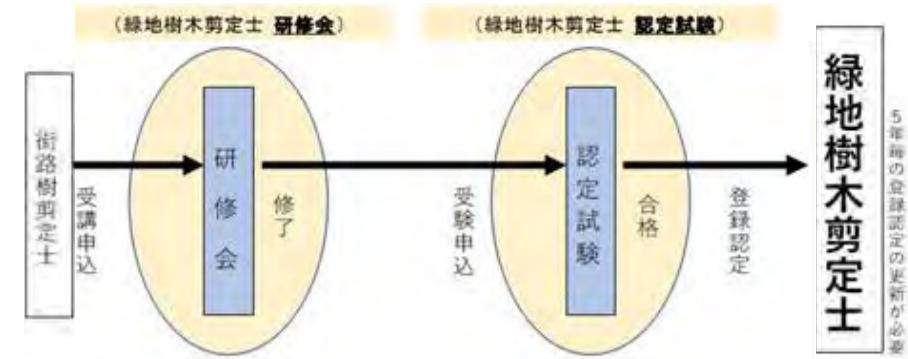
都市公園等の緑地において、樹木の老朽化や不適切な管理により、枯枝の落下、枯損木による倒木の発生により利用者への危害や公園施設に破損が及ぶことが危惧されるなど公園や緑地の管理上の新たな課題が顕在化しており、樹木の良好な育成や安全対策の実施を通じて、公園や緑地の機能的確な保全・確保・向上が求められています。

街路樹剪定士の持つ知識と技術に加え、公園や緑地の樹木に関する基礎的な知識を有し、樹木の剪定整姿などの適切な育成管理や日常の安全点検をすることのできる技術者を養成するため、すでに

街路樹を対象に剪定・管理している「街路樹剪定士」をベースに、新たに「緑地樹木剪定士」資格制度を2023年4月に設立することとしました。

この資格制度の意義は、公園や緑地の管理者とその利用者の間に立って、公共的緑地空間に植栽された多様な樹木を対象に、緑地の利用者が快適に安全に利用できる造園空間を提供するとともに、緑地の管理者へ提案できる技術者を養成することです。

これまで公園や緑地における樹木を管理される担当者からも、発注の際に活用できる資格制度はないかとの問い合わせもあり、それに対応すべく街路樹剪定士



の資格活用が道路分野に限定されることなく、公共的緑地樹木までを対象に拡大することとなりました。

合わせることを予定しています。（図2）

「緑地樹木剪定士」の対象領域と能力

対象とする領域は、個人庭などの私的空間ではなく、街路を除く誰もが利用できる公園や緑地・オープンスペースなどの公共的空間で、有資格者は街路樹剪定士の能力や知識に加えて、公共的空間の樹木を適切に管理できる知識と能力を有していることとしています。（図1）

受講・受験要件と資格取得フロー

「緑地樹木剪定士研修会」の受講要件は街路樹剪定士であり、研修会修了者は「緑地樹木剪定士認定試験」を受験することができます。

試験合格後に登録認定を行うことにより資格者になります。また登録認定には5年毎の更新を義務付けていますが、街路樹剪定士の更新手続きと

2022年度の特例措置

制度設立前に、日造協会員の街路樹剪定士を対象に、特例措置として特例研修会を8月と来年1月に実施します。特例研修会を受講された方は、制度設立後に登録認定することにより資格者となります。

8月の開催については、500名以上の方に受講いただきました。今回受講できなかった方は、来年1月にも実施する特例研修会をぜひご受講ください。

今後の予定

今後は制度要綱の制定や認定委員会を設置し、2023年4月から制度運営が始まります。研修会・試験の開催日程や登録認定手続きについては、決まり次第ホームページ等でご案内予定です。

公園や緑地の樹木を管理されている多くの方に、この資格制度をご活用いただけよう周知してまいります。



【造園用フルハーネス型墜落制止用器具の販売】

★日造協では、技術委員会安全部会を中心に労働安全衛生規則の改正に伴い造園作業に適したフルハーネス型墜落制止用器具を開発などを進めてきました。

この度、日造協安全部会の群馬庚申園(株)様から「造園用フルハーネス型墜落制止用器具」を会員の皆様へ特別価格で提供とのご案内がありました。

ご希望の方はURL (<http://shop.kousinen.com/>) よりお申し込みください。

別表1	公園・緑地に関する基礎知識(60分)	1.公園・緑地樹木の管理 2.公園・緑地に関する基礎知識
第1講	公園・緑地に関する基礎知識(60分)	3.剪定技術に関する基礎知識 4.剪定に関する用語の定義 5.公園・緑地樹木の剪定及び刈込技法 6.公園・緑地樹木剪定の品質
第2講	剪定技術(80分)	7.安全管理・樹木の安全点検
第3講	安全管理・樹木の安全点検(50分)	8.植栽基盤整備概論 9.みどりの発生材リサイクル 10.公園・緑地樹木の管理運営計画
第4講	その他関連知識(50分)	

「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」

この機会に
ぜひご購入を

好評発売中

公園や緑地の樹木の維持管理技術者育成や剪定に関する用語定義の必要性に鑑み「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」としてとりまとめ発刊しています。公園・緑地樹木の管理に携わる方は、ぜひご活用ください。本書は日造協ホームページから購入できます。<https://jalc.or.jp/publish/index.html>



「造園大百科事典」は日造協会員に12月末までの限定で10%割引していただけます。割引販売の特設ページ (<https://pro.form-mailer.jp/lp/6824f763258183>) または①のQRコードをご利用ください。

公共図書館があるようです。また朝倉書店のサイトでは、一部の項目の試し読みができます。ご関心を持たれた方におかれましては、お目通しを頂けると幸甚です。

学会の目・眼・芽 第127回

「造園大百科事典」の刊行とご一読のすすめ

(公社)日本造園学会監事 長崎大学総合生産科学域(環境科学系)教授 渡辺 貴史

筆者も執筆に関わった「造園大百科事典」が、2022年7月に、朝倉書店から刊行されました。総ページ数が708ページにわたる同書には、造園に関する科学的・技術的な知識を説明するために設定された278項目が掲載されています。執筆には、159名の学術、官公庁、業界関係者が携わっています。

同事典の刊行の目的は、序において総編集者である亀山章先生(東京農工大学名誉教授)が述べられる通り、造園分野の共有するテーマに対する学術と技術の全体像を体系的に示すことです。造園分野の共有するテーマとは、豊かな自然環境と美しい景観をもつ持続的な国土を形成し、快適で健全な生活環境を保全・創出することです。これは、本誌本年1月号の創立50周年

記念座談会のキーワードの一つといえる造園分野の“大義”に相当するといえるでしょう。

◆

類書としては、田畠貞寿・樋渡達也編「造園の事典」(朝倉書店、1995)等があります。しかし類書刊行以降の造園分野は、環境志向の高まりや歴史的に形成された景観・史跡等の文化財の保護を重視する社会のニーズの変化により、飛躍的に拡大しました。飛躍的に拡大した全体像を体系的に示すことは、造園分野が“大義”に応えるためにも、重要といえます。

◆

刊行にあたっては、編集委員会による掲載する項目と執筆者の検討が行われ、執筆者に対する依頼がなされました。筆者が編集委員から執筆依頼を

頂いたのは、メール受信日によれば、2012年7月です。最初の依頼から刊行に至るまでには、約10年かかっています。ちなみに筆者が担当した項目は、最初の原稿提出後に新しい動きが出てきたため、刊行前に改訂をしました。事典の刊行は、通常の本と比べて、構想・執筆・編集作業に、多くの時間を要するものといえます。

本書の項目は、原論/歴史/風景・景観計画/都市・地域計画/公園緑地計画/生きものと生態系の保全/自然環境の再生と植生管理/植栽デザイン/緑地機能/造園空間の整備/行政計画・制度/調査・実験・分析手法/の12章に分けられています。各項目では、ある用語の意味のみを説明する辞典とは異なり、項目とそれに関連する他の項目も説明することで、項目に関わる事柄を体系的に理解できるようになっています。

◆

筆者が調べた限りでは、既に所蔵す

令和4、5年度 日造協 各委員会・部会紹介

令和4、5年度の日造協 各委員会・部会を8月号(581号)より数回に分けてご紹介します。表の○委員長・部会長、○副委員長、※理事

技術委員会

委員長 伊藤 幸男

技術委員会は、造園技術・技能の研究開発と標準化、技術情報の共有化、安全管理、造園新技術の情報収集、日本造園学会など他団体との技術技能の向上に向けての活動など、多岐にわたった活動を行っております。昨今は、CCUSなど新たな制度への対応や、高所作業に関する安全面の課題など、多くの会員の方の関心の高い



技術・技能・調査部会 部会長 佐藤 英介

会員の技術・技能向上を目的に「造園工事の代表的な工種について善し悪しの判断ができる眼を育てる」ための若



造園技術フォーラム部会 部会長 大場 淳一

「技術フォーラム」は、会員各社の施工分野で工夫し、高めてきた技術、ノウハウを共有するために全国持ち回りで開催してきました。



技能五輪等部会 部会長 坂元 博明

本年の「造園」の技能五輪全国大会は、都立木場公園「多目的広場」を会場に、11月5日・6日



安全部会 部会長 萩野 淳司

安全衛生管理は、現場において命を守る重要な仕事です。事故・災害防止に加え、今日

課題にも取り組んでいます。これらの大変な課題を含め、引き続き様々な視点から会員各社のご意見を集め取り組んでまいりたいと考えております。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

技術委員会

氏名	所属	支部
○大場 淳一	(株)大場造園	東京
○坂元 博明	(株)柳島寿々喜園	東京
○荻野 淳司	アゴラ造園(株)	東京
※近 陽一郎	(株)新潟造園土木	新潟
吉田 巧	(株)横山造園	北海道
増田 博一	(株)増田造園	栃木
松原 大介	(株)松原造園	石川
水谷 春海	(株)水谷造園	三重
的場 盛州	(株)松風園	和歌山
梶岡 美生	(株)カジオカ L・A	広島

氏名	所属	支部
藤田 秀樹	(株)藤田萬翠園	香川
古賀 正	古賀緑地建設(株)	福岡

氏名	所属	支部
○伊藤 幸男	(株)日比谷アメニス	東京
佐藤 英介	(株)石勝エクステリア	東京
大場 淳一	(株)大場造園	東京
坂元 博明	(株)柳島寿々喜園	東京
荻野 淳司	アゴラ造園(株)	東京

技術・技能・調査部会

氏名	所属	支部
○佐藤 英介	(株)石勝エクステリア	東京
渡邊 章	(株)八廣園	埼玉
角幡 大亮	(株)富士植木	東京
村岡 賢二	(株)西武造園(株)	東京

氏名	所属	支部
吉村 知泰	(株)吉村造園	東京
中村 秀樹	内山緑地建設(株)東京支店	東京
山田 裕之	㈱ワールドグリーンメンテナンス	神奈川
石井 匠志	アゴラ造園(株)	東京

造園技術フォーラム部会

氏名	所属	支部
○大場 淳一	(株)大場造園	東京
四宮 繁	(株)四宮造園	北海道
尾形 伸也	(有)ミドリ企画	宮城
河野 友和	(株)東武緑地(株)	東京

氏名	所属	支部
石川 正典	(株)植藤	神奈川
増田 寿	(株)芸北造園土木	広島
米岡 伸一郎	(株)東武園緑化	熊本

技能五輪等部会

氏名	所属	支部
○坂元 博明	(株)柳島寿々喜園	東京
卯之原 昇	(株)昭和造園	東京
西村 剛彦	(株)西村造園土木(株)	東京

氏名	所属	支部
梯原 亘	(株)豊橋園芸ガーデン	愛知
奈須 正典	(株)奈須造園	大阪
葉名 康弘	(株)エネルギーAL & Bパートナーズ	広島

安全部会

氏名	所属	支部
○萩野 淳司	アゴラ造園(株)	東京
山口 雄資	群馬庚申園(株)	群馬
矢野 孝紀	日産緑化(株)	東京

氏名	所属	支部
高田 和己	(株)東武緑地(株)	東京
柳田 英樹	(株)日比谷アメニス	東京
内田 卓弘	(株)内田造園	神奈川

造園領域発展戦略委員会

委員長 田丸 敬三

今期も継続事項として①働き方改革の推進②担い手の育成・確保・女性活躍の推進③造園力の発揮機会の拡大を重点項目として取り組んでまいります。また、未だ収束が見えない新型コロナウイルス禍の中「新しい生活様式」で求められる働き方なども踏まえ、日造協も創立50周年



年を超える多様化する課題に新たな視点から、各委員会・部会・総支部・支部の方との意見も取り入れ、連携して取り組んでまいりたいと思います。

造園領域発展戦略委員会

氏名	所属	支部
○田丸 敬三	(株)東光園緑化(株)	東京
○久郷 慎治	(株)久郷一樹園	富山
○持田 正樹	(株)もちだ園芸	島根
○藤巻 慎司	藤造園建設(株)	神奈川

氏名	所属	支部
下地 浩之	(有)西原農園	沖縄
須磨 佳津江		顧問
涌井 史郎	東京都市大学	顧問

氏名	所属	支部
○四宮 繁	(株)四宮造園	北海道
田丸 敬三	(株)東光園緑化(株)	東京
藤巻 慎司	藤造園建設(株)	神奈川
酒井 一江	(株)淡窓庵	顧問

戦略立案部会

氏名	所属	支部
○藤巻 慎司	藤造園建設(株)	神奈川
田丸 敬三	(株)東光園緑化(株)	東京
渡部 敦	(株)庄内園芸緑化(株)	山形
田口 正典	(株)田口園芸	神奈川
川瀬 勝之	(株)植倉造園	岐阜

ふる
さと
岐
阜
県
自
慢

「落語発祥の地」 安楽庵策伝上人と7つの寺

岐阜と言えば、織田信長公の金華山岐阜城、清流長良川の鵜飼、世界遺産合掌造りの白川郷、古都飛騨高山、天下分け目の関ヶ原、飛騨牛、富有柿などなど自慢したいものがたくさんあります、岐阜が「落語発祥の地」であることをご存じでしたか？

◆
落語の祖・安楽庵策伝上人は、1554年に現在の岐阜市三輪で生まれ、7歳の時に同地の淨音寺で出家、その後上洛し修行を重ね西国を中心に7つのお寺を復興・建立しました。

◆
43歳の時岐阜に淨音寺25世住職として戻り、17年間岐阜市西荘の亀甲山立政寺とともに守りました。60歳で京都の総本山誓願寺の55世法主となりました。

◆
晩年、策伝上人は生涯において集めた1039の滑稽話・人情話・仏の教えを説話集「醒睡笑」にまとめました。

策伝は説法の達人で、字の読み



西谷山淨音寺（岐阜市三輪）



亀甲山立政寺（岐阜市西荘）

ない人達にもわかりやすく仏の道を教えるため、最後に“話の落ち”を使う手法を生み出しました。「醒睡笑」にもこの手法が生かされ、後世落語の種（ネタ）として使われるなど、江戸時代より策伝上人が“落語の祖”と言われる由縁です。

◆
また誓願寺に「安楽庵」を建て隠居したため「安楽庵策伝」と呼ばれる由来です。

岐阜市では安楽庵策伝上人を顕彰し、笑いでまちを元気にする「岐阜市笑いと感動のまちづくり事業」として「全日本学生落語選手権・

策伝大賞」が平成15年から開催されて毎年熱戦が繰り広げられています。

岐阜が落語発祥の地であることご理解

いただけましたか。岐阜はユーモアたっぷりの地なのです。

日比 真一（岐阜県支部 昭和造園土木株）



アナザースカイを探しに行こう！

株
土
新
屋
新
松
戸
絵
里
部
園

みなさんは頑張った自分へ何かご褒美をあげていますか？

私にとっての大きなご褒美は海外旅行ですが、今は行けないので、ちょっとウズウズしています。

コロナ前は、友人と綺麗な海を求めてよく旅をしていました。

◆
そんな友人との旅の合言葉になっているのが「アナザースカイを探しに行こう！」です。

アナザースカイとは、某テレビ番組のタイトルにもなっていますが「第二の故郷」「もう一つの空」などといった意味があります。

日本にはない独自の文化や習慣、歴史に触れ、そこで暮らす様々な人々との出会いがあり、見るものすべてが新鮮で新しい発見がたくさんあるところが海外旅行の魅力だと思います。



◆
美しい海や星空を眺めたり、美味しいものを食べたり、楽しみは行き先や目的によって様々ですが、中でも楽しみの一つが「旅先で



セブ島の海



ニューカレドニアの星空

の人の出会いです。
行きの飛行機で現地の挨拶を練習して、おすすめの観光スポットを尋ねてみたり、お土産の値引き交渉をしてみたり、勇気を出してコミュニケーションをとることにチャレンジしてみる！これも旅の醍醐味です。

◆
もう一度見たい景色、誰かに見せたい景色を求めて、これからもアナザースカイを探し続けていきたいです。
そして「一期一会」その時々の出会いを大切に、自分の人生という旅も楽しんでいきたいと思います。

みなさんも是非、アナザースカイを探してみてください！

事務局の動き

【9月】

- 1(木)・運営会議
- 2(金)・全国事務局連絡会議 WEB形式
- 6(火)・広報活動部会
- 8(木)・技術委員会
- 14(木)・総務企画部会
- 15(木)・新規制度等部会
- 16(金)・造園技術フォーラム部会
- 18(日)・植栽基盤診断士認定試験（学科試験）
- 22(木)・第2回造園施工管理技術検定委員会
- 26(月)・AIHP 総会～9/30
- 28(火)・資格制度委員会
- 29(木)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）

【10月】

- 3(月)・植栽基盤診断士認定委員会
- 4(火)・広報活動部会
- 5(木)・登録基幹技能者テキスト編集委員会
- 6(木)・運営会議
- 13(木)・登録造園基幹技能者講習（群馬）～14
- 19(木)・財政基盤強化部会・会員拡大プロジェクト推進部会合同会議
- 28(金)・運営会議

・ひろげよう 育てよう みどりの都市 全国大会

委員会等の活動

●広報活動部会

8/2 日造協ニュース8～12月号の内容及び新春座談会について審議

●女性活躍推進部会

8/3 今期の部会員の顔合わせ及び令和3年度事業

編集後記 行動制限のない3年ぶりの夏、皆様はどう過ごされましたか。帰省に行楽地にと出掛けられた方も多いとは思いますが、まだまだ以前のような人出やイベントにはなりませんね。毎年楽しみにしている花火大会も縮小・分散となり残念、、来年はデッカイ花火が見たいものです。



天然素材の
わら縄・わら蘆をお届けします

商品の詳細は
弊社オンラインストアから！

<https://www.usui-nouchikusan.com>



わら縄



こも(むしろ)



麻繩



しゅろ縄

「お好みパレット便」ご利用ください！

・お得なパレット価格で
お届けします

・小ロットずつ色々な商品を
自由に組み合わせることができます



※組み合わせ例

TEL: 0250-62-3926

〒959-1944 新潟県阿賀野市金屋765番地
TEL: 0250-62-3926 FAX: 0250-62-1206

白井農畜産HP
<https://www.usui-niigata.co.jp/>
✉: usui@usui-suibara.co.jp

(令和2年度第3次補正 事業再構築補助金により作成)



10月は加入促進強化月間です

国が作った退職金制度、建退共に加入しませんか
福祉の増進と企業の振興のための建設業の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました！

●加入できる事業主
建設業を営む事業主

●対象となる労働者
建設業の現場で働く方

●掛金は 日額320円

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました！

◎法律に基づき運営される国が作った制度
◎建退共に加入し、履行している場合は「経営事項審査」で加点評価
◎国からの財政上の支援
(国の助成により掛金の一部が免除)

特長

◎掛金は全額非課税
(損金または必要経費に算入できます)
◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
◎加入の手続きは簡単
(各都道府県の建退共支部で加入)

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号 (ニッセイ池袋ビル)
建設業退職金共済事業本部 TEL 03-6731-2866 (ダイヤル)
FAX 03-6731-2895

建退共のホームページを
ぜひ、ご覧ください

検索